

# 若手研究者コラムリレー

## 中嶋 哲也 (なかじま てつや)



### プロフィール

茨城大学教育学部准教授  
日本体育・スポーツ・健康学会の専門領域: スポーツ人類学  
2005年3月 埼玉大学教育学部生涯学習課程健康スポーツコース 卒業  
2011年3月 早稲田大学スポーツ科学研究科スポーツ科学専攻 修了  
2011年4月-2013年3月 早稲田大学スポーツ科学学術院 助手  
2013年4月-2015年4月 鹿児島大学教育学部 講師  
2015年5月~ 現職  
E-mail: tetsuya.nakajima.anthropology@vc.ibaraki.ac.jp



### わたしの研究

#### ただなんとなく、武道の研究をしてきました。

元々、モラトリアム的に大学院に入ったので、問い詰めたテーマがあったわけではありません。あるとしたら、学部時代の恩師大保木輝雄先生の武道の歴史の話が面白かったので、もっと知りたかったのが一番の理由だったと思います。

ただ、大学院に入ってからは苦労しました。大学院は早稲田を選んだのですが、修士課程の指導教員だった志々田先生からは「キミ、柔道やってたんだったら江戸時代の起倒流の歴史をまとめてらどうだ？」とご助言いただき、言われるがまま調べることになりました。しかし江戸時代を研究する方法が分からず、不完全な修士論文を書いたように思います。また、研究に追われて就職活動もなかったの、博士課程しか道がありませんでした。

博士課程はスポーツ人類学の研究室を選びました。寒川先生の話が面白かったからです。最初の2年間は江戸時代の柔術流派の歴史を続けました。周りは現代のアクチュアルな課題に取り組んでいた、海外調査をしていたりと華やかにみえました。何より、ゼミで自分の研究発表の順番が回ってくると周りが沈黙するのでつらかったです。このままではダメだと思い、江戸時代と縁を切って大正昭和の武道の歴史を研究対象にしました。この時代を選んだのは、スポーツ史で研究が盛んになりつつあるところだったので、なんとなく、華やかな議論に巻き込んでもらえるのではないかと考えたからです。結果的に、上手く巻き込まれて今があります。

私は武道(界)に対して何か強い思いや主張があるわけではなく、なんとなく流れてこの業界に残りました。ただ、研究して新しい事を発見するのは好きです。あと、研究について話せる人がいるのも大事ですね。今は、この辺が満たされているので、そこそこ良い人生が送れているように思います。

わたしの渾身の論文・書籍・記事

中嶋哲也『近代日本の武道論:〈武道のスポーツ化〉問題の誕生』, 国書刊行会, 2017年。



### (なんでも帳)

いま、取り組んでいるのは、次の4つの研究です。

1つ目は、形の復元方法に関する研究です。武道の中核的実践は形によりますが、古い形のやり方と現行のそれとは異なる場合がみられます。私は、古文獻に記された当該流派の形の仕様を読み解き、復元する研究グループをフィールドワークし、どのように古い形を復元しているのかを研究しております。私もこの復元方法によって古い形を復元しそこに内在する武道の思想を明らかにしたいと考えております。

2つ目は、1つ目と関連しますが、形と崇高の関係です。最近、美学の崇高論に惹かれています。感性的(身体的)なものと倫理的・政治的なものを繋げて考えることができるからです。とはいえ、まだ始めたばかりの研究なので、今後どうなるか見通しはついていません。

3つ目は古武道の現代的意義についての研究です。よく1960年代の体力主義体力で運動嫌い・体育嫌いが生まれたといわれますが、その人たちがもししたら古武道などオルタナティブな身体活動に向かったのではないかと考えております。また国内の古武道界は担い手不足が言われますが、海外では何千人もの弟子を抱える流派も存在するといえます。こうした古武道の実態を詳細に検討して、古武道の現代的意義はどのように見出されているのか、どのような問題を抱えているのかを明らかにしたいと考えております。

4つ目は海外の武道伝播です。今は1930-45年の満州国における武道伝播の実際、ブラジル移民社会における武道の伝播などから身体文化のグローバル化の問題を考えております。

### 日本体育・スポーツ・健康学会 若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育・スポーツ・健康学会若手の会が発足しました！ → [メーリングリスト登録フォーム](https://goo.gl/forms/zGMPdPq5fY3kcB5q2):

<https://goo.gl/forms/zGMPdPq5fY3kcB5q2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

[taikugakkaiwakate@gmail.com](mailto:taikugakkaiwakate@gmail.com)

